Presentation Materials（会社説明資料）

2013年12月20日（金）

株式会社　神戸物産

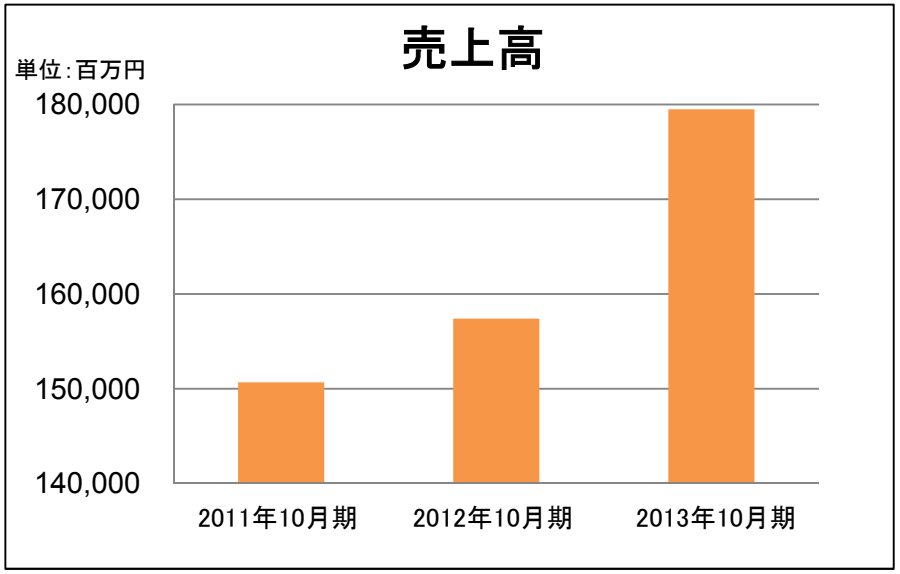
目次

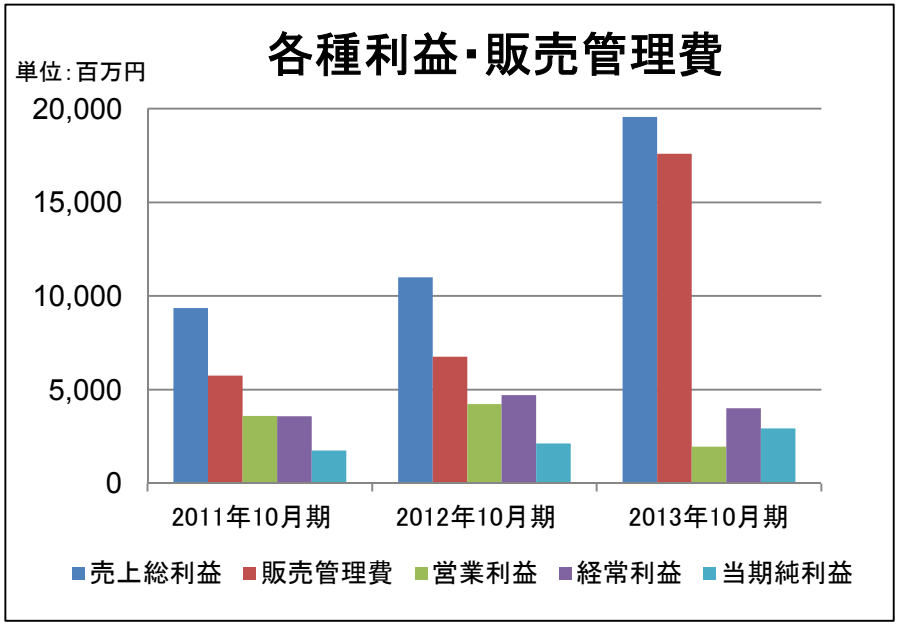
- 連結業績ハイライト 1
- 神戸物産の沿革 2
- セグメント別概要（第3次産業）
  - 業務スーパー事業 3
  - 神戸クック事業 5
  - クックイノベンチャー事業 7
  - エコ再生エネルギー事業 8
- 製販一体　第1次産業・第2次産業 9
- 連結業績の概要　貸借対照表 10
- 販売管理費内訳 11
- 連結業績の概要　キャッシュフロー計算書 12
- 今後の取り組み 13
- 株価の推移 14

連結業績ハイライト

単位：百万円

事業年度	2012年10月期 連結累計期間 （売上比率）	2013年10月期 連結累計期間 （売上比率）	増減比率
売上高	157,412(100%)	179,499(100%)	14.0%
売上総利益	10,991(7.0%)	19,559(10.9%)	77.9%
販売管理費	6,756(4.3%)	17,602(9.8%)	160.5%
営業利益	4,234(2.7%)	1,956(1.1%)	△53.8%
経常利益	4,709(3.0%)	4,012(2.2%)	△14.8%
当期純利益	2,123(1.3%)	2,929(1.6%)	37.9%





神戸物産の沿革

1981年	4月	兵庫県加古川市神野町石守において、フレッシュ石守として食品スーパーを開業
1985年	11月	有限会社フレッシュ石守を兵庫県加古川市に設立
1991年	4月	株式会社フレッシュ石守に組織変更
1992年	7月	大連福来休食品有限公司を中国遼寧省に設立
2000年	3月	「業務スーパー」FC1号店を兵庫県三木市に開店
2001年	10月	株式会社フレッシュ石守が旧株式会社神戸物産を吸収合併し同時に株式会社神戸物産に社名変更
2004年	1月	神戸物産(香港)有限公司を中国香港行政区に設立
2004年	2月	神戸物産(安丘)食品有限公司を中国山東省に設立
2006年	4月	「神戸クックワールドビュッフェ」FC1号店を兵庫県加古川市に開店　本社事務所を兵庫県加古郡稲美町に移転
2006年	6月	大阪証券取引所市場第2部に株式を上場
2006年	10月	KOBE BUSSAN EGYPT Limited Partnershipをエジプトに設立
2007年	10月	関西物流センターを神戸市灘区に開設
2008年	3月	株式会社オースターエッグ、株式会社ターメルトフーズをグループ会社とする
2008年	4月	株式会社ベストリンケージを設立
2008年	10月	株式会社神戸物産エコグリーン北海道を設立
2008年	11月	株式会社ソイキューブを設立
2009年	2月	株式会社マスゼンを設立
2009年	3月	秦食品株式会社を設立
2009年	5月	株式会社肉の太公、宮城製粉株式会社を設立

2009年	10月	「Green's K」FC1号店を東京都江東区に開店
		株式会社麦パン工房を設立
2010年	6月	株式会社OK's クリエイトを50%出資で設立し、株式会社オークワとの合弁会社とする
		株式会社オーデリカ's Kを株式会社神戸クックが50%出資で設立し、株式会社オークワとの合弁会社とする
2010年	10月	Kobe Bussan Green Egypt Co., Ltd.をエジプトに設立
2011年	3月	株式会社エコグリーン埼玉を設立
2011年	8月	新業態「Green's K 鉄板ビュッフェ」1号店を和歌山県和歌山市に開店
2011年	10月	株式会社川口工業を設立
		株式会社神戸機械製作所を設立
2011年	11月	株式会社グリーンポートリーを設立
2012年	2月	珈琲まめ工房株式会社を設立
2012年	8月	メガソーラー発電事業を開始
2012年	12月	大阪証券取引所市場第1部に上場
		ほくと食品株式会社をグループ会社とする
2013年	1月	豊田乳業株式会社を設立
2013年	4月	株式会社クックイノベンチャー、株式会社ジー・コミュニケーション、株式会社ジー・テイスト他5社をグループ会社とする
2013年	5月	株式会社富士麺業を設立
		関原酒造株式会社をグループ会社とする
2013年	7月	株式市場統合により東京証券取引所市場第1部に上場

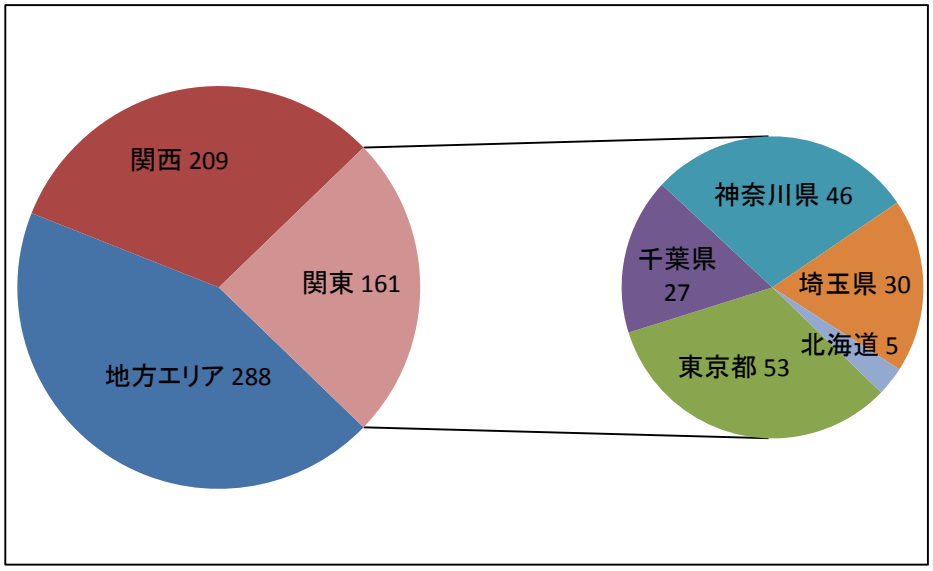
セグメント別概要（第3次産業）
業務スーパー事業

プロの品質とプロの価格
業務スーパー

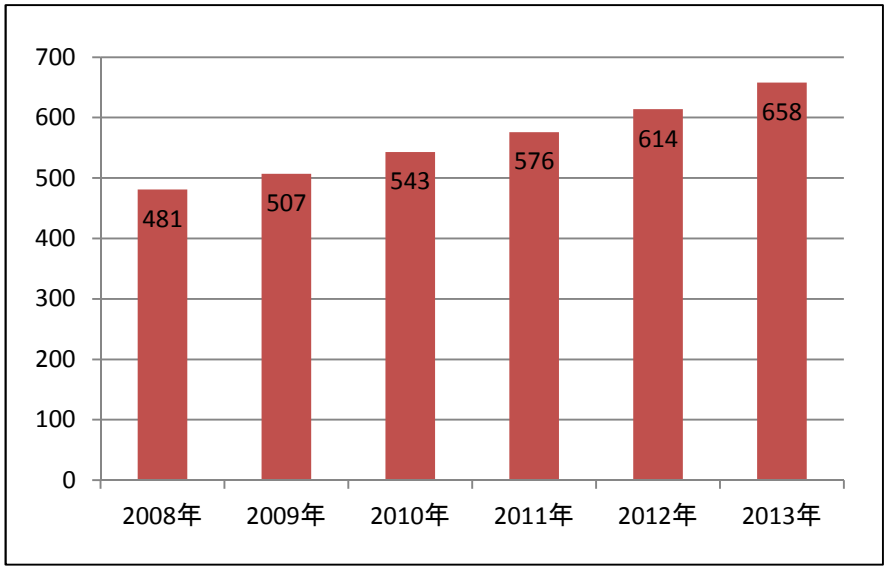
①業務スーパーの概要

自社で生産加工した商品を始め、世界各国から輸入した商品を販売するプロ向けスーパー
店舗数：658店舗（2013年10月31日現在）
店舗の場所等詳しい情報は下記URLをご参照下さい
http://www.kobebussan.co.jp/shop/

②地域別の業務スーパー店舗数



③店舗数の推移



関東直轄：東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県・北海道
関西直轄：大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県・滋賀県

業務スーパー店舗

店舗外観



ダンボール陳列



資材売場





冷凍ケース



均一コーナー



冷蔵陳列

神戸クック事業

神戸クックワールドビュッフェ

世界各国の料理をビュッフェ形式で提供するレストラン
店舗数：12店舗（2013年10月31日現在）
形態：単独店舗・ショッピングセンターイン型





Green’s K

出来立ての惣菜を提供する小型スーパー
店舗数：14店舗（2013年10月31日現在）
形態：単独店舗・スーパーイン型





Green’s K　鉄板ビュッフェ

ビュッフェとセルフクックが融合したレストラン
店舗数：12店舗（2013年10月31日現在）
形態：単独店舗・ショッピングセンターイン型





神戸クック事業
～外食新業態～



外食新業態「しゃぶしゃぶ健康」長吉店
2013年12月4日オープン！

コンセプト:「農場からテーブルまで」安全安心のおいしさ

○オリジナルの飼料で健康的に育てた若牛
→ほどよいサシ、絶妙な厚みのカット

○柔らかさと芳醇な旨みが身上の吉備高原どり
→高たんぱく・低脂肪で、繊維が細く柔らかい

○北海道の広大な土地で育った特選大豆
→ビタミン類やイソフラボンが多く健康的







クックイノベンチャー事業

株式会社ジー・コミュニケーションの支援について

・当社は平成25年2月15日付で株式会社ジー・コミュニケーションと、支援に関する基本合意書を締結いたしました。スポンサーとして資金提供、資本参加等の経済的支援を行い、事業の再建・企業価値の向上を図ってまいります。

・ジー・コミュニケーショングループの外食事業に対し、神戸物産グループの食材提供を実施する等所要の方策を講じることにより、事業運営及び財務内容の改善等を支援いたします。

・当社グループは「6次産業『真』の製販一体」というグループ目標を掲げ、安全・安心なオリジナル商品をベストプライスで安定供給する一方、ムダ、ロス、非効率を徹底的に排除したローコストオペレーションを実施してまいりました。
その一環として、今回の支援は第3次産業である外食事業を強化し、既存の体制をより強固にすることを目的としております。

エコ再生エネルギー事業

メガソーラー発電事業について

・温室効果ガスであるCO_2の削減、将来的なエネルギー供給の安定化等の観点から、2012年11月よりメガソーラー発電事業を開始いたしました。

・2013年10月末現在、北海道で2ヶ所、兵庫県で4ヶ所、福岡県で1ヶ所の計7ヶ所で約6,000kWの発電を開始しております。

・今後も、化石燃料の利用を抑え、より安全でクリーンな再生可能エネルギーの普及拡大に向けて、各地でメガソーラー発電を進めて参ります。





製販一体　第1次産業・第2次産業

○農業・畜産

＜株式会社神戸物産エコグリーン北海道＞

所有地面積（2013年10月31日現在）：約1,500ha

農地・牧場として累計2,000haの取得を目指します。

＜KOBE BUSSAN EGYPT Limited Partnership＞

保有農地面積（2013年10月31日現在）：約2,900ha

根菜類などのテスト栽培を継続しております。

○水産

宮城県石巻市で水揚げした魚を新鮮な状態でお客様に
お届けしております。

○養鶏

株式会社グリーンポートリーにおいて、「吉備高原どり」を養鶏しております。
その日に処理された鶏を、当社独自の温度管理と菌数管理により
新鮮なまま業務スーパーに納品しております。







○国内外のグループ工場

大連福来休食品有限公司
神戸物産（安丘）食品有限公司
株式会社オースターエッグ
株式会社ターメルトフーズ
株式会社ソイキューブ
秦食品株式会社
株式会社マスゼン
株式会社肉の太公
株式会社麦パン工房
宮城製粉株式会社
株式会社神戸物産エコグリーン北海道
株式会社エコグリーン埼玉
株式会社川口工業
株式会社神戸機械製作所
株式会社グリーンポートリー
珈琲まめ工房株式会社
ほくと食品株式会社
豊田乳業株式会社
富士麺業株式会社
関原酒造株式会社



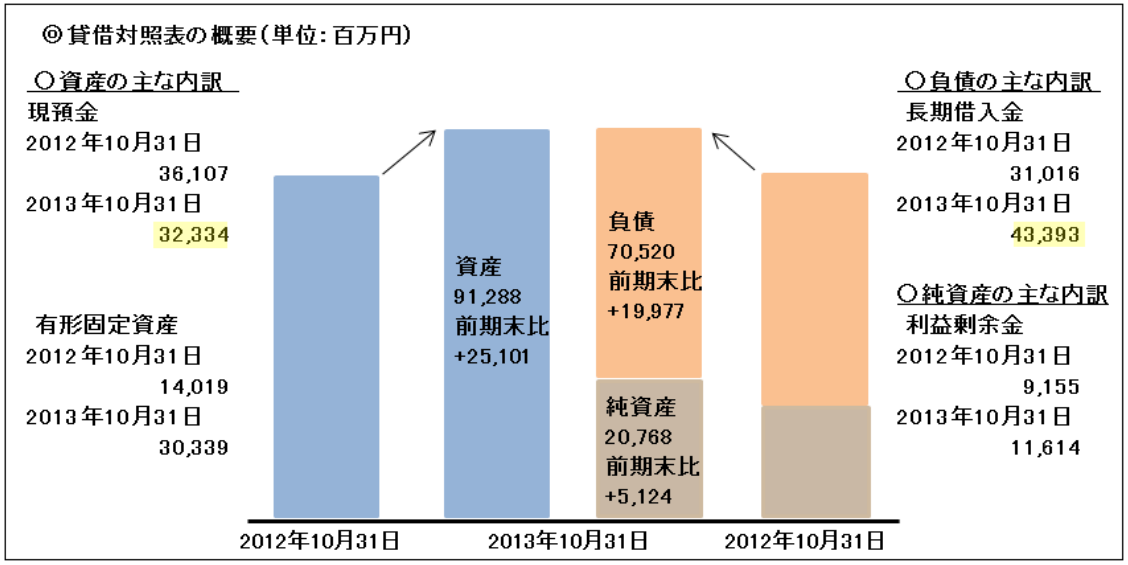




連結業績の概要　貸借対照表

単位：百万円

事業年度	2012年10月期	2013年10月期	増減
流動資産	50,252	51,783	1,531
固定資産	15,935	39,505	23,570
資産合計	66,187	91,288	25,101
流動負債	15,400	19,144	3,744
固定負債	35,142	51,375	16,233
負債合計	50,543	70,520	19,977
純資産	15,644	20,768	5,124

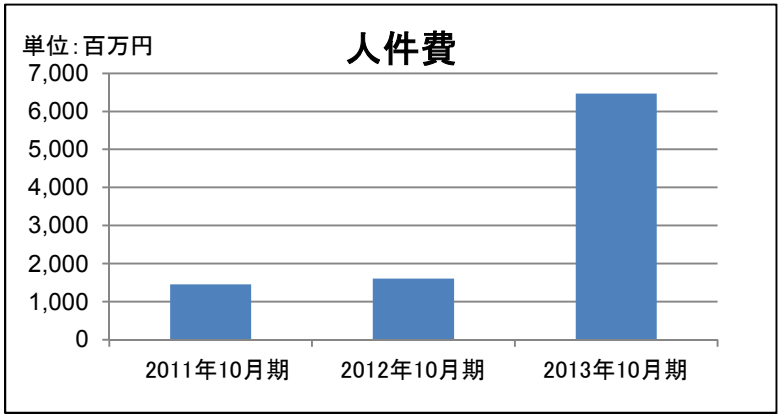


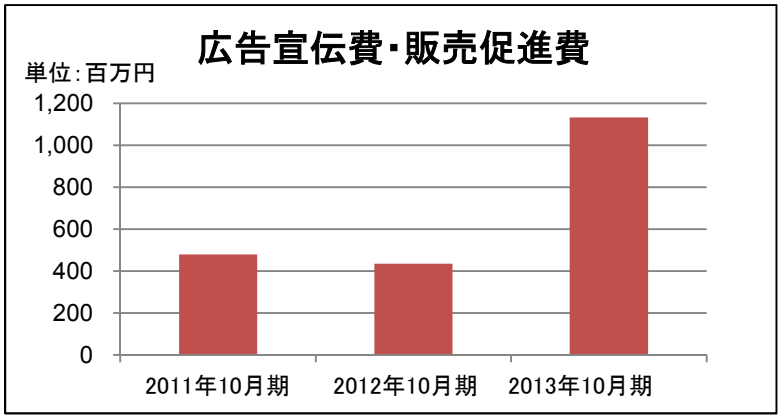
	11年10月期	12年10月期	13年10月期
ＰＥＲ	9.60倍	7.74倍	5.82倍
ＰＢＲ	1.21倍	1.05倍	0.93倍
ＥＰＳ	223.61円	271.20円	381.88円
ＢＰＳ	1,773.89円	1,996.37円	2,383.97円
ＲＯＥ	13.30%	14.40%	18.10%
1株配当額	45.00円	60.00円	70.00円
配当利回り	2.10%	2.86%	3.15%
純資産	13,891百万円	15,644百万円	20,768百万円
当期純利益	1,754百万円	2,123百万円	2,929百万円
有利子負債	17,130百万円	31,473百万円	43,888百万円
現預金	24,016百万円	36,107百万円	32,334百万円
自己資本比率	28.70%	23.63%	18.34%

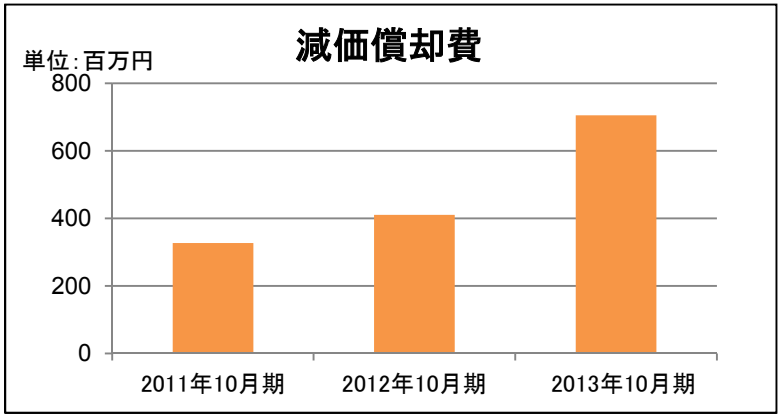
販売管理費内訳

単位：百万円

事業年度	2012年10月期 連結累計期間 （売上比率）	2013年10月期 連結累計期間 （売上比率）	増減比率
人件費	1,603(1.0%)	6,472(3.6%)	303.7%
広告宣伝・ 販売促進費	435(0.3%)	1,134(0.6%)	160.7%
減価償却費	410(0.3%)	705(0.4%)	72.0%
研究開発費	133(0.1%)	157(0.1%)	18.0%
その他	4,175(2.7%)	9,134(5.1%)	118.8%
総計	6,756(4.3%)	17,602(9.8%)	160.5%





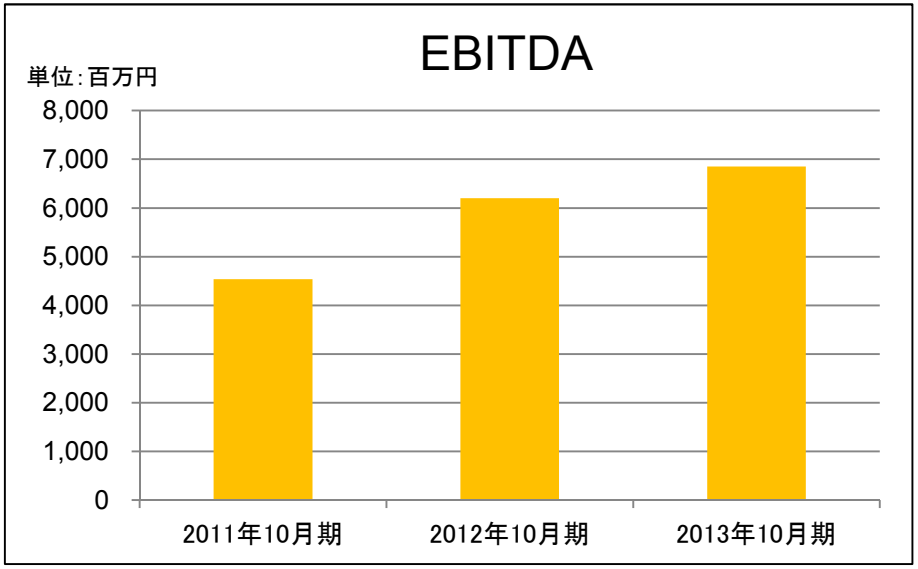


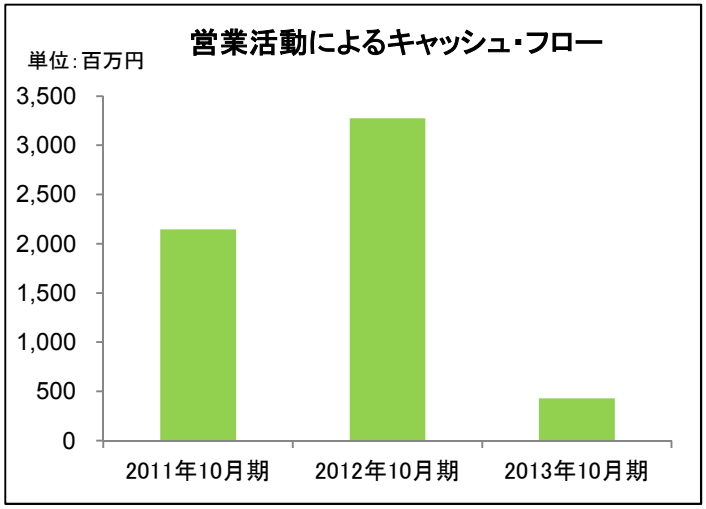
連結業績の概要　キャッシュ・フロー計算書

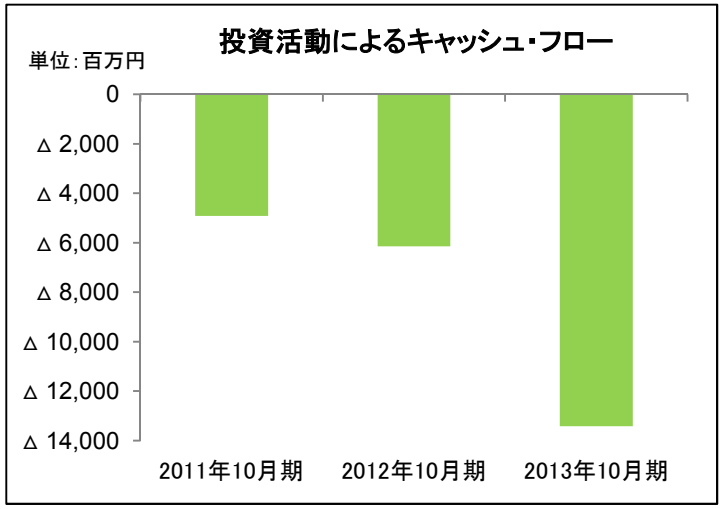
単位：百万円

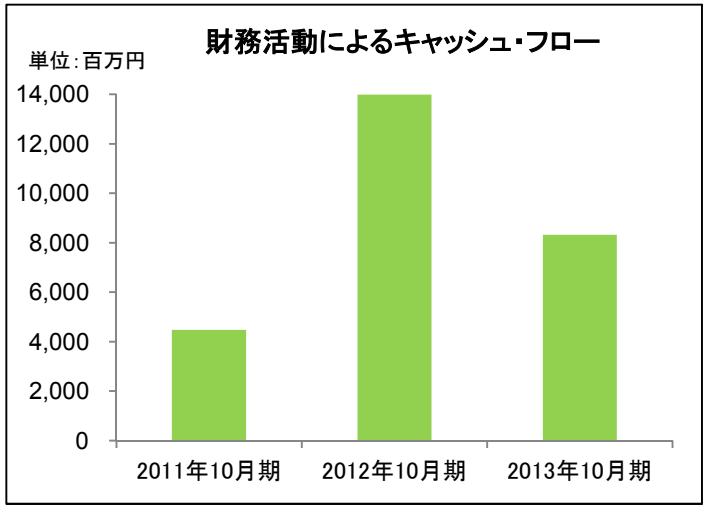
事業年度	2012年10月期	2013年10月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,274	430
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,147	△13,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,988	8,316
現金及び現金同等物の期末残高	33,829	29,819
EBITDA	6,202	6,849

※EBITDA=税引前当期純利益＋支払利息＋減価償却費





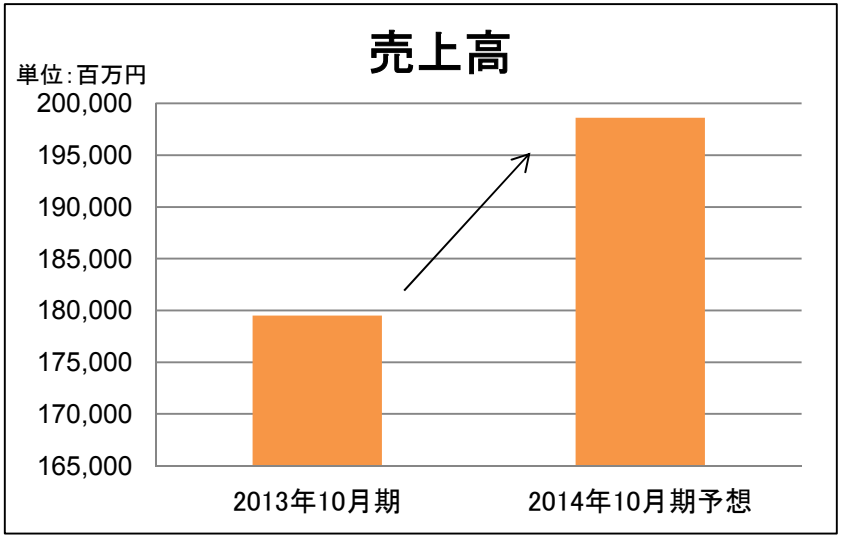


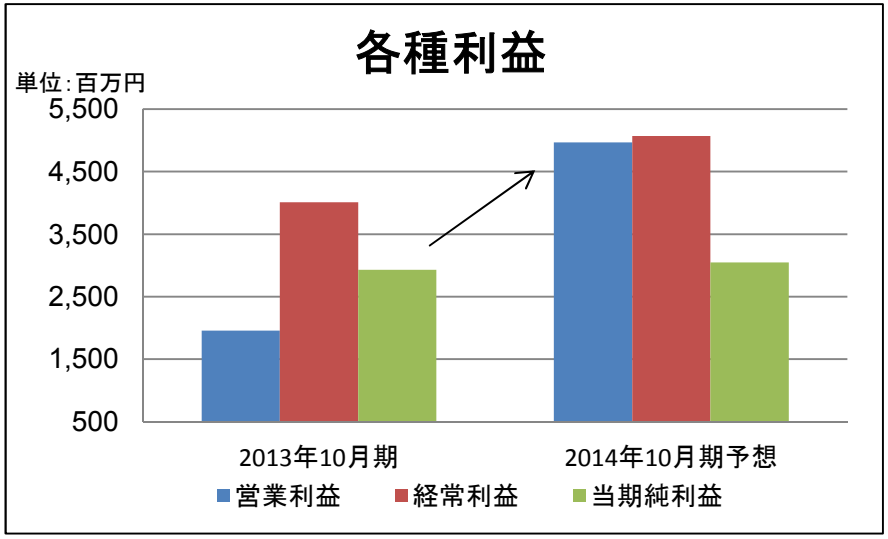


今後の取り組み

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2013年10月期実績値（連結）	179,499	1,956	4,012	2,929
2014年10月期予想（連結）	198,620	4,970	5,070	3,050
増減率	10.7%	154.0%	26.4%	4.1%

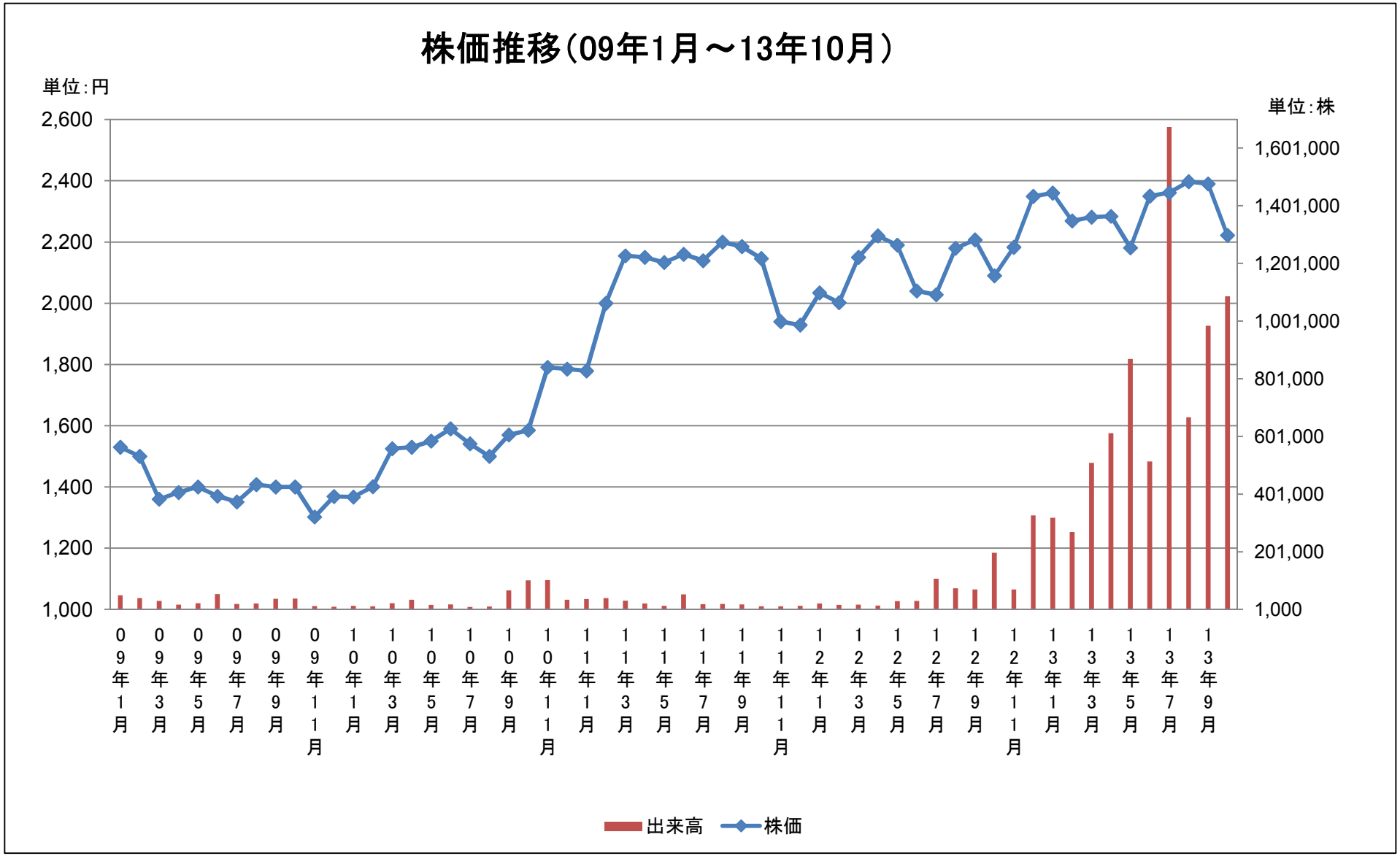




＜当社の今後の取り組み課題＞

- 貿易、冷凍、業務用のオリジナル商品の開発強化
- 食品工場、農畜産業の更なる強化
- 海外メーカーの協力体制、開拓強化
- 品質管理体制の強化（人材育成）
- 時間コストを削減し、ムダ・ロス・非効率を徹底的に排除
- キャッシュフローの有効利用（有形資産の取得）
- 新規FC加盟店様の開拓
- 「真」の製販一体体制の構築
- 業務スーパー店舗数の増加（35店舗増）
- 安全・安心確保のための商品管理
- 販売促進の有効活用
- メガソーラー発電事業の拡大

株価の推移


株価推移（09年1月～13年10月）
単位：円
単位：株
2,600
2,400
2,200
2,000
1,800
1,600
1,400
1,200
1,000
1,601,000
1,401,000
1,201,000
1,001,000
801,000
601,000
401,000
201,000
1,000
09年1月
09年3月
09年5月
09年7月
09年9月
09年11月
10年1月
10年3月
10年5月
10年7月
10年9月
10年11月
11年1月
11年3月
11年5月
11年7月
11年9月
11年11月
12年1月
12年3月
12年5月
12年7月
12年9月
12年11月
13年1月
13年3月
13年5月
13年7月
13年9月
出来高
株価

- 本資料には、平成25年12月20日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれます。

- 経済環境の変動など不確定要因により実際の業績が記載の予想と異なる可能性がありますのでご了承くださいませ。

- 本資料は株式の購入の勧誘・奨励を目的としたものではございません。

～本資料に関するお問い合わせ先～
株式会社神戸物産
経営企画部門　矢合・森下
TEL：079-496-6610
FAX：079-496-6620